



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

# 武蔵野小だより



コロナウイルス感染症と花粉症の対策に、マスクを正しくつけましょう。

令和4年3月1日発行

## 世界に目を向ける人に

先月のお話集会では、私のかつての赴任先であるトルコ共和国での体験をもとに、子どもたちに「エルトゥールル号」の話聞いてもらいました。トルコは「文明の十字路」などと言われますが、親日国としてもよく知られています。

今から約130年前に遡ります。明治23年、トルコ共和国の「エルトゥールル号」という大きな船が、日本との親善を図るためにはるばるやって来ました。

行きの航海には約11ヵ月を要したエルトゥールル号は、帰りに和歌山県沖で台風により座礁し沈没してしまいました。母国トルコへの思いを抱きながら、ふるさとから遠く離れた場所で約600名の方が命を落としてしまいます。しかし、大変な嵐の中、大けがをして苦しむトルコの人たちを、村人たちが寝る間も惜しみ必死で助けたのです。その後も、懸命にけがの手当をしました。清潔な服に着替えさせ、栄養をつけるための食事を作り、何週間もの間、丁寧に看病を続けた結果、69人の命が救われました。

実はその当時、村の人々は生活に苦しんでいて、本当は自分たちが食べるのもやっとの状態だったそうです。それにもかかわらず、外国から来た自分たちを助けてくれたことを知って、救われたトルコの人たちは深く感謝をしました。そして、母国に帰り、日本人が行ってくれたことや感謝の気持ちを多くの人々に伝え、やがてこの出来事はトルコの国中に広まっていったそうです。

「トルコではエルトゥールル号のことが小学校の社会の教科書に載っています。だから、みんなが知っている話。同じアジアの西と東、日本は、昔からの信頼できる友人です。」

トルコを訪れると、今でもこのように話す人と出会うことがあります。



全長 79.2m 艦幅 15.1m 2334 t

<https://www.town.kushimoto.wakayama.jp/kanko/kizuna/turkey.html>  
(串本町ホームページより)

本校では、教職員が学年や学級の子どものたちのよいところ、武蔵野小学校のすばらしいところなどについて、機会を見つけ伝えるようにしています。

今後、社会の高度情報化とともにグローバル化が加速度的に進むと言われています。その中を生き抜く子どもたちにとって、先人の偉業や自分が暮らす国のよさをしっかりと知っていることはとても大切になると考えています。

来る<sup>きた</sup>3月24日には、立派に成長した102名の6年生の皆さんが武蔵野小学校を巣立っていかれます。卒業生の皆さんが、これからも武蔵野小学校を大切に思い、ふるさと川越を誇りとし、さらに広く世界にも目を向け、自分の夢や希望に向かって進まれることを心から願っています。

結びに、地域や保護者の皆様には、今年度も数多くのあたたかいご支援を賜りました。ここに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす